



維新公園ファンクラブ通信



令和8年(2026年) 1月1日 第50号



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、武道館が空調工事により半年間閉館となりましたが、3×3バスケットボールコートの新設や、大規模な大会・イベントの開催により、例年に劣らず多くの皆様にご来園いただき、賑わいと活気に満ちた一年となりました。

今年の維新公園での注目すべき大会としては、一般財団法人ピックルボール日本連盟主催の「ピックルボール世界大会」が、6月5日から3日間の日程で開催されます。大会期間中には、県主催の「山口県観光物産&ニュースポーツフェスタ(仮称)」も開催される予定であり、県内外・国内外に向けて、維新公園を広くPRできる絶好の機会となります。

また、現在、安全で快適な利用環境の確保に向けて、5月頃の完成を目指した、テニスハードコート2面の新設工事が進んでいるほか、8月以降1年間の工期予定でアリーナが天井耐震工事のため閉館となるなど、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、開園40周年を契機に、平成25年に創設した「維新公園ファンクラブ」は、おかげさまで、会員数が1,300人を超え、この「ファンクラブ通信」も今回で第50号という節目を迎えました。会員の皆様との協働による「花壇サポーター」や「植栽ボランティア活動」をはじめ、維新公園の自主事業への参加など、「かけがえのない応援団」として、お支えいただいております。改めて深く感謝申し上げます。

今後、「手づくりの公園管理」を一層推進していくためには、会員の皆様との関係性をより深めていくことが重要であると考えており、「自主事業運営ボランティア」や「季節の清掃ボランティア」など、各種ボランティア活動の拡充を計画しておりますので、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、会員の皆様にとりまして、健やかで実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

一般財団法人山口県施設管理財団 理事長 前田 安典



2016年
花壇サポーターの様子



2021年
植栽ボランティア活動の様子

～装いを変えていく園内のメタセコイア～

「メタセコイアの見頃をInstagramに掲載しました」



11月5日



11月12日



11月19日



11月26日



12月3日

第31回ウエスタン・ブレイブスカップ (西日本クラブ対抗男子バレーボール大会)

維新公園ファンクラブの皆様、こんにちは！山口市バレーボール協会の佐賀です。

この度は、令和8年3月14日(土)～15日(日)に維新大晃アリーナで開催する「第31回ウエスタン・ブレイブスカップ」を紹介します。

この大会は、前会長の泉裕樹氏(令和6年2月逝去)が山口県の9人制男子クラブチームのレベルアップと親睦を図る目的で、平成8年3月に第1回大会を開催して今回で31回を迎えます。

これまでに、クラブチームのナンバー1を決める全日本9人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会で優勝したチーム等が多数参加して、山口県や中国ブロックのレベルアップに貢献していると自負しています。

本大会は、3月に実施することで各チームの新年度に向けての強化に繋がり、各チームから大変喜ばれています。試合内容は、土曜日に予選グループ戦を実施し予選グループ戦の結果で、日曜日の各グループの順位ごとにトーナメント戦で順位を決めています。2日間で全チームが5試合出来るため、新年度に向けてのチーム強化に役立っています。

また、土曜日にチームの監督と選手が参加する懇親会を開催し、親睦を図っています。

バレーボールは、6人制と9人制があります。6人制は、全日本男子に石川選手や高橋選手が活躍して大変人気があります。9人制は、一般男女(実業団、クラブ)とママさんで全国大会等が開催されています。学生(高校、大学)までは6人制ですが、卒業後に9人制を始める選手が多く、山口県内も6人制のチームは少なく、殆どの選手が9人制チームに加入してバレーボールを続けています。

6人制と9人制の違いは、選手が6人と9人でコートの広さも9メートルと10.5メートル(女子は同じ9メートル)、ネットの高さも違います。サーブも6人制は1本でネットインはOKですが、9人制は2本ありネットインは反則になります。9人制は、オーバーネットが反則でボールがブロックタッチ後は2回しかプレー出来ず、ネットにボールが触れた場合は1回プレーが追加できます。9人制の醍醐味は、攻撃(スパイク)やブロックに6人の選手が参加し、守備(レシーブ)には専門選手が行う事でラリーが続きます。6人制はローテーションがあり、9人制はローテーションが無くポジションが固定制で高齢者も活躍する事が出来るため、生涯スポーツとしてマスターズ大会やヴィンテージ大会が開催されています。

3月に開催の本大会は、14日(土)の10時30分から予選グループ戦を行い、15日(日)9時30分から順位決定トーナメント戦を行います。入場料は無料ですので、9人制バレーボールの醍醐味を味わいにご観覧頂ければと思っています。



主な大会・イベント情報

【R8. 1～3】

凡例 ア：アリーナ シ：レクチャー 武：武道館
テ：テニス場 補：補助陸上競技場 ちょ：ちよるる広場
ラ：ラグビー・サッカー場 み：みらいふスタジアム

下記の大会・イベントは予定で、変更の可能性あります。各大会・イベントの詳細は主催者にお問い合わせください。
その他大会はHPで確認してください。

陸上競技

- 2/8(日) 全日本実業団ハーフマラソン (み)
3/8(日) 山口県読売駅伝 2026 (み)

サッカー・ラグビー

- 1/18(日) NTTジャパンラグビーリーグワン (み)
3/21(土)～22(日) 山口サッカーフェスティバル (補・ちょ・ラ)

テニス

- 1/17(土)～18(日) DUNLOP全国選抜ジュニア県予選 (テ)
1/24(土)～25(日) 中国ジュニアウインター大会〈U-16・U-18〉 (テ)

バスケットボール・バレーボール

- 1/31(土)～2/1(日) YAMAGUCHI中学校バスケットボール大会 (ア・レ)
3/14(土)～15(日) ウエスタブレイズカップ・バレーボール←※P2 みどころ紹介 (ア・レ)

武道

- 1/4(日)～6(火) 新春高等学校剣道山口錬成大会 (ア・レ)
2/1(日) 山口県柔道選手権大会 (武)

障害者スポーツ

- 2/22(日) 全国障害者スポーツ大会山口県予選会精神バレーボール (レ)
2/22(日) 全国障害者スポーツ大会山口県予選会フットソフトボール (ちょ)



企画事業

財団の企画事業を次のとおり開催します。日時内容等変更の可能性もあるので
HP等財団広報を必ずご確認ください。【R8. 1～3】

◆ヤマダホールディングス陸上教室

- ・開催日：1月4日(日)
- ・場 所：みらいふスタジアム

◆バードウォッチング

- ・開催日：1月25日(日)
- ・場 所：園内

◆クレマー・ジャパン陸上教室

- ・開催日：2月11日(水)
- ・場 所：みらいふスタジアム



◆エネルギーランナースクール

- ・開催日：2月21日(土)
- ・場 所：みらいふスタジアム



RENOFA コーナー

「最終順位が19位となり、J3降格が決定いたしました。最後まで諦めない姿を見せてくれ最終節を勝利で終えることができましたが、勝ち点1及ばずに降格という結果となってしまいました。クラブは創設20周年という節目の年に、もう一度原点に立ち返り、同じ過ちを繰り返さぬよう、最速でのJ2復帰と信頼の回復に向けて歩みを進めてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。」

代表取締役社長 渡部博文コメント 公式ホームページより

維新公園を彩る樹木 総集編 第5章 (13話～15話)

⑬～維新公園のケヤキオアシス～

第13話はニレ科の落葉高木で、日本の代表的な広葉樹の一つ、ケヤキについて紹介しました。

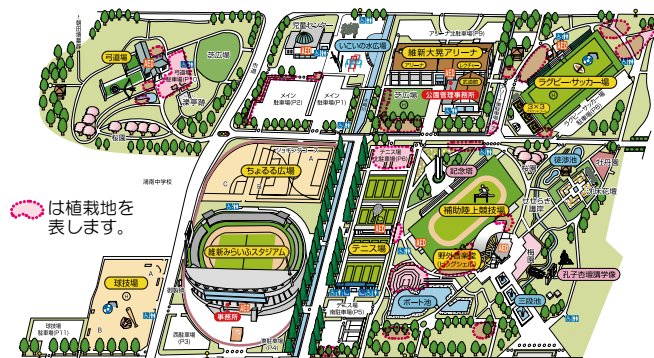
ケヤキは公園樹や街路樹として各地に植えられています。維新公園でも多くの植栽があります。なかでも、ポート池の一面は樹齢およそ80～90年の木もあり見事です。暑い夏、水面からの風に吹かれ、ケヤキの木陰でベンチに座っているとまるでオアシスにいるようです。樹高25m、直径5mにもなり、天然記念物として保護される巨樹が各地にあります。

秋、ポート池のケヤキエリアはケヤキの落葉に埋もれます。維新公園ではこの落葉で腐葉土を作っています。維新公園のケヤキは景観材としてだけでなく、落葉の再利用でも役立っています。



ポート池のケヤキ

維新公園のケヤキ植栽地



⑭～四季を彩るナンキンハゼ～

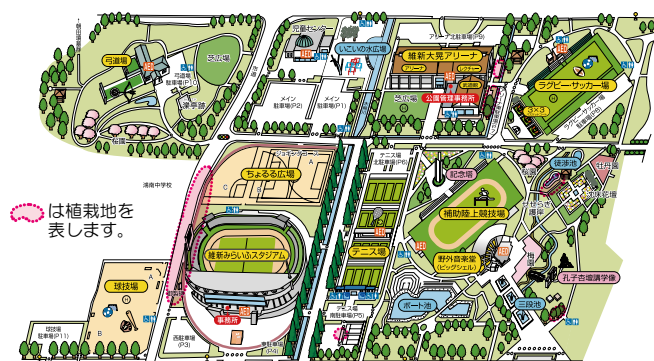
第14話はトウダイグサ科ナンキンハゼ属の落葉広葉高木のナンキンハゼについて紹介しました。

中国の中南部を原産地とし、江戸時代に種子から蠟を採る有用樹として長崎に渡来し、後に街路や公園に使われるようになりました。樹高は15mになります。樹皮は若木のころは白っぽい色ですが、成木になると灰褐色になり不規則に縦に裂け、荒れた肌合いを見せます。葉は枝から互い違いに生じ、先端が尖ったスパー型で、幅3.5～7cm、長めの柄が付きまします。開花期は5～7月頃で枝先に黄緑色をした小花が、長さ5～15cmの穂状に連なって咲きます。維新公園には沢山のナンキンハゼが植えられています。青葉の丸い葉がかわいらしく、秋になると赤～オレンジ～黄色に色づく紅葉、そして冬の園路を彩る果実など、年間を通じて楽しませてくれるナンキンハゼです。



みらいふスタジアム西側のナンキンハゼ街路

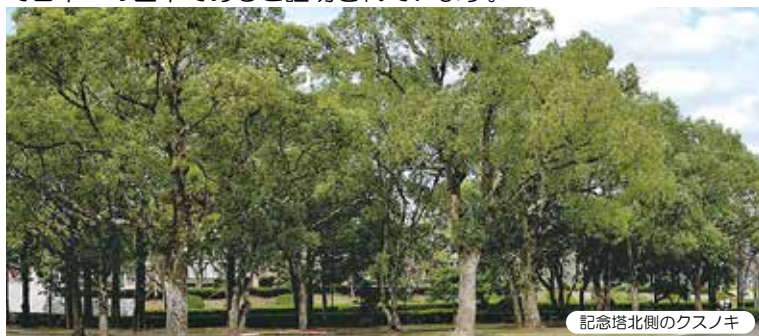
維新公園のナンキンハゼ植栽地



⑮～クスノキ、公園の歩と共に～

第15話は園内にある単独の高木で最も多い、クスノキについて紹介しました。維新公園の大きなクスノキはいつ頃、どこから来たのか調べてみました。

昭和42年、野田神社の参道にあった18本が公園に移植されたそうです。運ぶ際、大き過ぎて歩道橋の下がくぐれず、太い枝を伐ったりと苦労されたそうです。又、野田神社参道の他、旧中央高校と県営野球場周辺のものも移植されたとのこと。それらのクスノキは維新百年記念公園と共に歩んできたというわけです。クスノキは通常の樹高は20m直径3～5mですが、樹高50m直径8mを超えるものもあり日本の巨木ランキングの上位を占め、鹿児島県始良郡蒲生町の「蒲生の巨木」は環境省の調査で日本一の巨木であると証明されています。



記念塔北側のクスノキ

維新公園のクスノキ植栽地

